

令和6年度 第1回自己評価の分析

設問項目	肯定的回答			分析内容
	生徒	保護者	職員	
【設問1】 楽しい場	88%	92%	95%	<p>生徒、保護者、職員とも肯定的な回答であった。生徒で見ると「そう思う」と回答した生徒が203名であった。これは、「ややそう思う」と回答した生徒135名を大きく上回り、全体の9割近くの生徒が学校は楽しい場所であると回答したことになる。これは、1学期に運動会や修学旅行、校外学習などの行事が行われ、充実した学校生活を送れたからなのではないかと推測できる。</p> <p>しかし、「そう思わない」と回答した生徒が12名、「あまりそう思わない」と回答した生徒が31名であった。個々に対して組織的できめ細やかな対応をさらに心がける必要がある。</p>
【設問2】 学校施設	95%	95%	86%	<p>生徒、保護者、職員とも肯定的な回答であった。きれいな校舎で各教室にエアコンがあり、生徒は快適に学校生活を送っているようである。しかしながら、体育館が老朽化しておりトイレや床・照明などの改善が進まない点や、ICT機器においてGIGA関係の通信速度の遅さや、使い勝手が悪い点等の改善点も自由記述に見られている。市に現状を報告し改善を図るとともに施設をきれいに保ち、大切に使用していくことが重要である。</p>
【設問3】 情報発信	90%	91%	100%	<p>生徒、保護者、職員とも肯定的な回答であった。さくら連絡網を活用し、学校便りや学年便りなどの情報配信に肯定的な評価をしてもらえたと考える。また、学校評価アンケートを紙媒体ではなく、Web配信で行ったが、回収率が紙媒体の頃よりも低下したことが新たな課題となった。今後も積極的にデジタル化を行い、生徒や保護者のニーズに応えられるように努力していきたい。</p>
【設問4】 地域交流	72%	66%	86%	<p>生徒に関しては昨年度より9%肯定的な回答が増えた。運動会がコロナ前と同じように開催され、出店も受け入れることができたことが大きく関係していると考えられる。</p> <p>2学期以降は職場体験学習や職業人に学ぶ学習において、地域の方々との交流を深めていきたいと考えている。</p>
【設問5】 いじめ防止	86%	81%	100%	<p>生徒の回答を見ると、「あまりそう思わない」と回答した生徒が31名、「そう思わない」と回答した生徒が15名であった。いじめゼロ学活や教育相談、いじめアンケートなど、いじめを防止する取り組みが計画的に行われているが、全てのいじめを防止できているわけではない。</p> <p>今後も組織的にいじめを防止していく努力を継続していくことが必要である。また、いじめ防止に関し家庭との協力関係を築いていくことも重要である。</p>
【設問6】 わかる授業	94%	81%	95%	<p>生徒の回答を見てみると、「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に回答した生徒が、1年生は88%、2年生は91%、3年生は83%だった。1年生の1学期は学習内容が優しいということも要因の一つだと考えられる。保護者についても、家庭での生徒の話と家庭学習の状況を踏まえて肯定的な回答が81%であったと考えられる。学年が上がるごとに各教科とも難しい内容が増えてきているが、今後も学力向上に向け各教科で研修を行い、対話的で主体的な授業の実践をしていけるよう取り組んでいく。</p>
【設問7】 誠実な相談活動	91%	67%	100%	<p>生徒と保護者の意識の差が最も大きかった。普段からトラブルの防止、早期発見、丁寧な対応を職員は心がけている。しかし、生徒の抱える問題解決を図った後、どのような結末となったのかを家庭へ報告することが漏れ落ちてしまう場面があった可能性も考えられる。今後とも生徒や保護者との関わりを大切にして、信頼関係を獲得する努力を継続していかねばならない。</p>

設問項目	肯定的回答			分析内容
	生徒	保護者	職員	
【設問8】 生徒理解 公平な評価	87%	81%	100%	保護者の回答を見てみると設問6と同じように肯定的な回答が80%前半である。1学期は1回の定期テスト(5教科)で通知表も5教科の評価のみの通知であるから、保護者としてわかりづらいところもあると思われる。職員としては、しっかりと準備し年間指導計画を確認しながら適切で公平な評価をして、説明がしっかりとできるように取り組んでいく。また、3者面談を通して生徒の様子を伝えることも継続して行っていく。
【設問9】 教育環境	94%	95%	100%	生徒、保護者ともに肯定的な回答がほとんどであった。昇降口などに部活動の入賞記録の掲示や、各フロアの掲示物など、生徒の努力を讃えるものが多く掲示されている。一方で、教室や学年室、特別教室などの掲示物や環境整備など、まだまだ改善できるところがあると思うので、毎月の管理場所安全点検を確実に、修繕できるところは迅速に直していくよう努力していく。
【設問10】 授業への取組 ・時間を守る	93%	95%	100%	遅刻して登校してくる生徒もごくわずか、時間を意識して行動する生徒がほとんどである。生徒は2分前や5分前を呼びかける活動を積極的に行っている。ただ、ある場面では、行動が遅い生徒がいて、スタートに遅れることがある。特に下校の時は、最終下校時刻ギリギリに急いで校門を出る生徒も少なくない。時間を意識させることを、更に徹底できるように学校全体で取り組んでいきたい。
【設問11】 交通ルールを守る	99%	91%	77%	今年度も交通安全については、機会をつくり指導をしている。生徒のアンケートはほぼ全員が交通ルールを守っていると回答している。しかし職員の肯定的な回答が77%と低い数値となった。毎年複数件の交通事故が発生している。当事者意識を持たせ、生徒が安全に登下校できるように指導や呼びかけの方法を改善工夫努力していく。
【設問12】 元気なあいさつ	89%	80%	72%	今年度も生活委員会によるあいさつ運動を行い、東金中のスローガンである「あ・じ・み・そ」の「あ」あいさつを活発に取り組んでいる。大きな声を出すことへの抵抗を持っている生徒や保護者もいるため昨年度よりもあいさつの声が小さくなったのではないかと、という意見が職員からも挙がっている。 社会生活を営んでいく上で重要であるあいさつが、さらに定着して習慣化するように今後も継続的に指導していく。
【設問13】 身だしなみ	95%	97%	100%	昨年度同様、生徒・保護者・職員とも9割を上回る結果となった。生徒の規範意識の向上や家庭での理解・協力が、服装や身だしなみにあらわれている。今後も清潔感のある中学生らしい身だしなみで生活できるよう指導を継続していく。
【設問14】 清掃活動	97%	93%	86%	清潔な環境を意識し清掃活動に積極的に取り組む生徒が多い。職員は「生徒とともにもっと清掃活動を丁寧に行う」という期待の表れにより、肯定的な意見が生徒と比較して低いと考えられる。今後もきれいな学校で学習できるように職員による率先垂範を心がけながら、生徒が公共心や勤労の精神をもって意欲的に清掃活動に取り組むように指導していく。
【設問15】 保護者の参加	94%	92%	100%	今年度の入学式は、コロナ禍以前と同じように保護者や在校生と一緒に入学式が行うことができた。また、運動会は平日開催に変更したものの多くの観客を迎え、出店を入れて行うことができた。部活動においても、総合体育大会などでは、観客を入れて行われた。保護者が学校行事に参加し、学校でどのように取り組んでいるのかを知ってもらうことは大変重要なことだと考える。今後も保護者が参加できる行事を工夫して行っていく。